



WEEKLY REPORT

第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

創立/1986年2月19日 (会長)久保 司 (幹事)渡邊 裕之
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン Tel(03)3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-26-109 Tel(03)3985-7577 Fax(03)3590-6644
 HP/http://www.rotary-club.jp/toshima E-mail/toshima-e@rotary-club.jp

◎本日の例会 1158回 2010年7月28日

当クラブが創立25周年を迎えるについての
参考事例

久保 司会長

台北東海 RC 創立15周年記念式典の紹介
佐野明三郎直前会長

◎前回の例会 1157回 2010年7月21日

会長報告

10月に北分区16クラブ合同例会(旧IM)が予定され、各クラブ3分間のDVD(パワーポイント)での紹介があります。当クラブとしては、ロータリーソング「奉仕の理想」の2部合唱のシーンを入れたいので、8月中には出来るように練習をお願いします。

幹事報告

- ①本日、RI人頭分担金その他、会員42名で手続きを致しました。
- ②東京本郷ロータリークラブより創立20周年記念事業並びに移動例会のご案内が前川PG、久保会長、渡辺3名に届いております。
記念事業は東京ドームでの少年野球大会です。
8月11日(水)朝、7時30分の始球式です。
- ③川口ロータリークラブ池沢勝之会長様より、本年川口市の活性化の為「ようこそ川口へ」のキャンペーンを全市あげて展開しております。
近隣ロータリークラブの皆様方にぜひ川口RCにメーカーアップに川口市へお出掛け下さいとのご案内がきております。

■ゲスト 東京音楽大学邦楽講師 池田万里子様

■ビジター

板橋セントラルRC 日吉清視様

■出席報告

会員	出席率 参入 会員数	出席数	欠席数	出席率	7月7日分 修正 出席率
42名	39名	29名	10名	74.36%	92.31%



暑中お見舞い申し上げます。
これからは暑さ本番といったところですが、どうぞますますご自愛のほどお祈り申し上げます。

◎次回の例会 1159回 2010年8月4日

卓話 熱中症について
緒方医院
院長 緒方晴夫氏

ニコニコBOX

廣内会員/先週、前年度最終理事会を無事に終了しました。
一年間お世話になりました。有難うございました。
明日、26周年結婚記念日、お祝い有難うございます。

8月の例会スケジュール

8月11日	休会
8月18日[1160]	例会 12:30~13:30 卓話 東京スカイツリーの建設 株式会社 大林組 建築本部 プロポーザル部 担当課長 高木浩志氏 紹介者 高崎快彦会員
8月25日[1161]	例会 12:30~13:00 クラブフォーラム 13:00~14:00 会員増強・拡大月間に因んで 会員増強・退会防止委員会

IT・OA委員会報告

長年使用して来ました東京豊島東RCのドメイン名が変更になります。
新しいドメイン名は

WWW.toshimah-rc.jpです。
現在システムの切り換え準備中ですが、8月上旬までには完成し稼動する予定です。
それまでにご迷惑をかけると思いますが宜しくお願いします。



音を通して観えてきた日本の音文化
東京音楽大学邦楽講師
音楽家 池田万里子様

《耳から耳へ》盲人に培われた音 日本における『音楽』の精神的背景

古代日本…豊かな四季と自然に恵まれた環境
 霊魂信仰（アニミズム）— 自然界に存在する万物には霊が宿っている
 原始神道 — 山に神が宿っている—八百万の神
 言霊 音霊 等

仏教（インド）

釈迦牟尼（前 563～前 483 説）琵琶を弾き失明した人を慰める
 大乘仏教（紀元前後）音楽を供養とする
 儒教—『仁』『義』『礼』『智』『信』（孟子 荀子 韓非子）
 孔子（前 551～前 479）『楽記』
 楽は中より出ず、故に静なり。礼は外より出ず、故に文あり。
 『書経』（孔子編）…礼節上の五大要目『貌・言・視・聴・思』
 道教—『道』…『天』に行きつく『道』（莊子）
 老子（前三世紀頃）…陰陽五行・神仙思想

『^{かんげんおんぎ}管弦音義』（平安末 北山陰涼金？）『^{ぐんじよるいじゆう}群書類従 卷三百四十一』（塙保己一編）より
 『楽書要録』に記された楽律の義を継承し、音の宇宙論を展開させている。
 夫管絃者萬物之祖也。籠 天地於絲竹之間。
 和 陰陽於律呂之裏。

『^{ここんちよもんじゆう}古今著聞集 卷第六 管絃歌舞 第七』（鎌倉時代 説話集 橋成季撰）

管絃のおこり、そのつたはれる事ひさし。清明天にかたどり、広大地にかたどる。始終四時にかたどり、周旋風雨にかたどる。宮・商・角・微・羽の五音あり。或いは五行に配し、或いは五常に配す。或いは五事に配し、或いは五色に配す。凡そ物として通ぜずといふことなし。

また変宮・変徴の二声あり。合はせて七声とす。また調子の品、その数おほしといへども、清濁のくらゐ、みな五音をいでず。諸仏敬神の庭、礼義宴よの筵も、このこゑなければ、その儀をととのへず。

☆人々の心を善に導くために正しい音楽が必要

五行思想 — 天地の間に循環流行して停息しない五つの気の元。

日本の音楽の特徴

並列的に発展 — 西洋音楽・日本の他の文化とは異なる。

『個』を尊重 — 音域的に余り離れない範囲で異種異質な楽器（声）が共存し基本的に同一旋律を演奏しても〔ずれ〕が生じ多彩な響きになる。

・楽器ジャンル等で各々の習得法・伝承・記譜などが存在する。

ゆらぎ— 平均的に一定周期を示すような物理的変化もマイクロに見ると、僅かな〔ずれ〕が出る。ある現象を波形と捕らえたとき、そのパワースペクトルの周波数に反比例

1/f ゆらぎ…自然界に存在する b する心地良い状態（風・小川のせせらぎ・・・）

1/f² ゆらぎ…心地良いが少し退屈さを感じるゆらぎ（乗物の揺れるリズム・・・）

日本の音楽の三要素

音色 — 発声法・器楽奏法において、音を如何に出すか・響かせるか・余韻を如何に処理するかなどが重要な要素となる。

言葉 — 日本語の自然な高低アクセントが旋律的なものとなる。

・表面的な旋律よりも内面から表現することに重点が置かれる。

・一語一音節の言葉であるため、自由自在なリズムが作り出される。

・感情の変化や旋律の進行で言葉から離れても、心情や情景などは強く表現される。

息 — 『吸う・引く』『吐く・発する』『止める・溜める』声のみならず、楽器を奏する場合、軀を動かす全てに不可欠な要素である。

『^{ぎよゆう}御遊

— 平安初期より、貴族社会を中心として教養と儀式や娯楽を兼ねたもの。 次号に続く